

2017年6月 大阪芸術大学・短期大学部・大学院

## 「動物芸術論」特別講義のご報告

昨年、短期大学部さまでの開催から一年、今年は更にパワーUP をする形で「ワイルドライフアート」に関する特別講義をさせていただきました。  
大学（150名出席）・短期大学部（80名出席）2回の「特別講義」を開催



大学開催の様子



短期大学部開催の様子

講義は前半に私が現在、力を入れている「ワイルドライフアートと野生動物保全」に関するお話をさせていただき、アートが出来る社会貢献の可能性についてお話をさせていただいた後、生息環境観察の大切さや、どのようなことに「インスピレーション」を感じ作品を描いているかなど具体例を示しお話をさせていただきました。

そして後半は実際に動物を描いていただき、形の取り方や観察眼を磨く練習をしていただきました。（大学では貴重なワオキツネザルのはく製を用いた実技も開催）



今年は OHP を導入し学生さんの作品を講評する場を設けより充実した内容となりました。



更に新たな試みとしてアートセラピーや環境デザイン学ばれている大学院の学生さんとも「ワイルドライフアートと野生動物保全」についてお話をさせていただき、貴重な意見交換する時間を持つことができました。

日本におけるアートを活かした「自然保護や絶滅の恐れがある動物たちの保護」の分野がもっと確立されるよう今後も頑張っていきたいと思っております。

Society of Animal Artists Signature Member 岡田 宗徳